

ダイバーシティ事業 国際人事交流プログラム（招聘）
授業・セミナー開催報告書①

報告日：2019年3月31日

招聘者氏名	片桐 恵子
被招聘者氏名	Trudy Corrigan
被招聘者 所属機関・職位	School of Policy and Practice in the Institute of Education, Dublin City University Assistant Professor
日時	平成31年3月4日～5日
場所	人間発達環境学研究科 大会議室
参加者	全員30名（うち女性教員2名、女性学生5名、女性院生3名）
授業・セミナーの内容	
<p>ワークショップ「Global Workshop: Sustainable Development Goals (SDGs) and University Education: Challenge of Global Interaction in A New Era」（平成31年3月4日～5日）の中で、講演を行い、Discussionに参加した。</p> <p>講演の内容は、Dublin City Universityの外国人受け入れの現状や、外国人向けプログラム、及びグローバル化を支える大学の組織やスタッフの紹介などを行った。</p> <p>アイルランドにおいては、移民の流入が著しく、移民の受け入れや、彼らに対する教育が大きな課題となっており、大学における人種のダイバーシティの取り組みに積極的であった。</p> <p>女性に関しては、アイルランドでは欧米の中では、比較的保守的で、教員の昇進や、学部長など高い地位における女性の割合は少なく、課題となっていたが、近年国を挙げて取り組みが進められている。</p>	

ダイバーシティ事業 国際人事交流プログラム（招聘）
授業・セミナー開催報告書②

報告日：2019年3月31日

招聘者氏名	片桐 恵子
被招聘者氏名	Trudy Corrigan
被招聘者 所属機関・職位	School of Policy and Practice in the Institute of Education, Dublin City University Assistant Professor
日時	平成31年3月6日～7日
場所	人間発達環境学研究科 片桐研究室
参加者	全員6名（うち女性教員1名、女性学生2名、女性院生1名）
授業・セミナーの内容	
<p>セミナーは、前半は学部生と大学院生が自分の研究発表を行い、Corrigan氏と片桐が、それに対してコメントを行い、そのあと全員で議論を行った。大学院生については、彼らの研究が日本にとどまらないグローバル性を持つなどの研究の意義を認めたため、大学生たちは自分たちの研究に自信をもつことができたようであった。</p> <p>また、Corrigan氏が学部学生に対して、将来のキャリアプランなどについてたずねた。学部学生は就職活動を始めたばかりの3年生であったが、男女の不平等についてこれまでほとんど感じておらず、就職に際してもあまり考えていない様子が明らかになった。Corrigan氏がアイルランドの大学における男女の不平等の問題について紹介し、現実社会での様々な問題が生じうるという話を片桐とともに説明したところ、ようやくジェンダー問題について考えなくてはならないと気付いたようである。学生にとっては社会における不平等の状況を知り、自分がどのようなことを考慮に入れてキャリアプランを立てるべきかなどを知るいい機会となった。</p>	